

い な が わ 猪名川って？ どんな川



いながわはかせ

猪名川は、兵庫県川辺郡猪名川町にある大野山を水源とし、大阪府・兵庫県・京都府の11の市と町を流れながら神崎川に合流する河川です。

上流部には、自然林が残っていますが、中流から下流にかけての流域には、住宅や工場が建ち並び、東西の拠点を結ぶ交通機関も集中するなど、流域内の資産密度・人口密度が著しく高い典型的な都市河川です。

猪名川プロフィール

- 水源地 兵庫県川辺郡猪名川町 **大野山** 標高753m
- 流域面積 **383**平方km
内訳:山地286.7平方km(74.8%)平地96.3平方km(25.2%)
- 流路延長 ●猪名川の長さ ●その他の支川
幹川**43.2**km **218.2**km
- 流域関連人口 約**180**万人
- 流域内の人口 約**65**万人
- 想定氾濫区域 **54.37**平方km
- 林相 **針葉樹と広葉樹がほぼ同じ比率**
- 地質 花崗岩類、段丘層、酸性火山岩(有馬群)・丹波帯・超丹波帯・大阪層群・沖積層の**7つ**からなっている。
- 気象・水文 瀬戸内海性気候に属し、気候は温暖。
年間降水量は**1500~1800mm**程度。
11月~2月までの降水量は少なく、
梅雨時の6・7月と9月に雨がよく降る。

猪名川流域図

凡例

- 猪名川流域
- ダム
- 大臣管理区間
- 府県境界



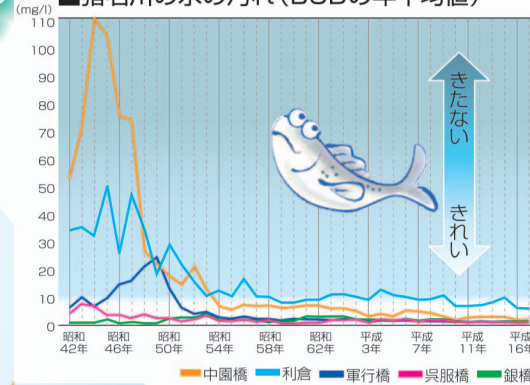
猪名川の水質

昔は猪名川にも泳げるくらいきれいな水が流れていましたが、昭和40年代に社会経済が発展したことや猪名川流域が都市化したことによって、特に最明寺川、駄六川などの水質が悪くなっていました。

そこで、昭和44年から「水質汚濁対策連絡協議会」で関係機関が話し合っ、工場からの排水を厳しい基準で監視したり、下水道の整備をすすめてきたことなどによって、特に猪名川の中流部の水質は昭和50年を境に大幅に改善されました。

近年では猪名川の水質に大きな変化はありませんが、もっときれいな水になることが望まれています。

猪名川の水の汚れ(BODの年平均値)



上記グラフ水質調査実施位置図

